

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

2023年 3月30日

市川市長

団体名 着物リメイク研究会

(団体番号 23)

代表者名

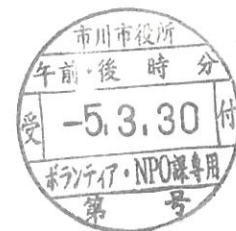
所在地

令和4年7月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、
下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	308,000円
(2) 補助対象経費総額	185,144円 190,930円
(3) 補助金交付決定額	107,225円
(4) 補助金交付概算払額	107,225円



(5) 実施報告

補助決定事業の名称	着物リメイク講習会およびファッションショー開催事業
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	<p>計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。</p> <p>○第1回講習会 2022. 7. 14, 28日(木) 13:00~15:00 開催。 「着物地から帽子を作る」参加者 7名。於：市川市役所市民支援センター</p> <p>○第2回講習会 2022. 11. 10, 24(木) 13:00~15:00 開催。 「着物地で作るアクセサリ-2点-①帽子のブローチ、②チューリップのブローチ」、参加者8名。於：市川市役所市民支援センター</p> <p>○第15回着物リメイクファッションショー 2023. 3. 26(日) 9:00~16:00 開催。開場13:30 開演14:00。参加者 研究会在籍 43名(市外 3名)、特別参加 2名、観客 239名。於：全日警ホール</p>
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	講習会は、市内公民館に掲示し、参加者を募集した。また、「地域新聞」、「いちかわ読売」紙にも掲載した。ファッションショーは、3月4日発行の「広報いちかわ」に掲載した。また、「地域新聞」、「いちかわ読売」紙にも掲載した。
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	<p>補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。</p> <p>第1回講習会「帽子を作る」では、持て余している(再生するのに苦勞する)帯地や着物、羽織を使ってお洒落なタウン帽子を作った。喜んで愛用してもらえらると思う。</p> <p>第2回講習会「アクセサリ-」は、帽子型とチューリップ型の可愛いブローチを作った。参加者の方々は、余り布で簡単にできるブローチを作り喜ばれた。</p> <p>第15回ファッションショーは、観客席は制限がなかったため満席で盛況だった。見た人から「それぞれの作品がすごく素敵でした」、「ショーを見て感動した」と多くの人から言ってもらった。ショーに参加した人は、作品作りに各自頑張りました。</p> <p>地域新聞等で呼びかけ、会員以外の人(2人)の参加もあり、ショーの楽しさを味わってもらおうことが出来た。</p>
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	<p>補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。</p> <p>着物リメイク研究会に入っていない人でも、個人でリメイクしている人は多くいると思う。その人達にも、ファッションショーに出てもらえるよう呼び掛けて、更に多くの人達でショーを開催したい。ショーに出る喜びを味わってもらいたい。</p> <p>家に眠っている着物に限らず、骨董市等で安く手に入る着物を使い、今着る洋服や小物作りに、今後も頑張っていきたい。</p>

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル : 第一回講習会「帽子を作る」

撮影年月日: 2022.7.14(木)



タイトル : 第二回講習会「着物地巾着カサリを作る」

撮影年月日: 2022.11.10(木)



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称: 着物×17講習会およびファッションショー開催事業

1【収入】

項目	金額	説明(積算等)
事業収入	68,200	
寄附金収入		
補助金収入	107,225	市川市市民活動団体事業補助金
その他 (助成金等)	-7,176	
会費充当	147,228 139,751	団体の本会計より充当
補助金返金	▲14,653	
合計	308,000	

2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明(積算等)
報償費	88,000	10,000	ショーアナウンサー謝礼10,000円のみ他講師・スタッフ謝礼
交通費	15,580	4,000 0	芯地購入・役員会交通費
消耗品費	19,692	15,994	インク代・ショー受付・生花代
印刷製本費	1,260	500 1,075	コピー代
通信運搬費	1,218	500 966	ショー案内状郵送費
保険料			
使用料及び賃借料	41,060	39,350	全日警ホール(ショー使用)
原材料費	123,545	114,800 123,545	作品用芯地・型紙用紙
食料費	17,645		お茶代・スタッフ弁当代・ショー出場子供お菓子
食料費等			
合計	308,000	185,144 190,930	

※ 領収書(原本)を添付してください。

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

2023年 2月13日

市川市長

団体名 NPO法人歌のボランティア・いちかわシャンテ
(団体番号 24)
代表者名 XXXXXXXXXX
所在地 XXXXXXXXXX

令和4年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	170,460円
(2) 補助対象経費総額	145,954円
(3) 補助金交付決定額	81,540円
(4) 補助金交付概算払額	81,540円



(5) 実施報告

補助決定事業の名称	コロナ禍における施設訪問代替（動画作成）事業
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。 計画書内容の①～⑤をそれぞれスケジュールに沿って行なうことができた。「春編」作成で得た問題点から「秋編」には修正を加えることができ、DVDの完成度を高めることが出来た。「春編」ではコメントなど各グループがスマホで収録したため、編集の段階で音声調整に無理が生じた。施設からのアンケートにも指摘があったので、「秋編」ではすべての楽曲を専門技術者が収録し、音声の問題を修正した。目標の、施設などでの春・秋の歌の季節的な活用には何とか間に合った。定期訪問の代替としての配付のほかにも追加作成し、希望する施設や個人にも、配付することが出来た。一方、新型コロナウイルス感染者数が減っても高齢者施設では警戒態勢を緩めることはなかったので訪問活動再開には至らずにおわった。
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	事業内容から市の広報やタウン誌などで呼びかけるのは断念し、当団体の機関誌やホームページで発信し、定期訪問以外の施設や個人に呼びかけた。市川社協にもご協力いただき、施設に活用してもらった事が出来た。
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。 コロナ禍の影響も刻々と変わり制限の緩和もされてきたと言うが、高齢者施設のボランティア受入れ、特に歌唱を伴うものや集会人数の多いものについては警戒が解けない。そのようななかで配付したDVDに関して、アンケート結果などから次のような答えが得られた。先ず、大変喜ばれて毎日活用している、と言うもの。訪問活動を思い出して大いに活用してくれているという。半面、事務室で担当者が見たものの実際には活用できなかったという施設もあり、このDVDを見るために集まることさえ許可できないと言う施設もあった。多かったのは「やはりナマがよい、コロナが収束したら来てほしい」というもので、この事業によりコロナ禍で消沈しかけていた会員の活動意欲等を維持することができた。また、今まで未訪問の施設には、動画から当団体の活動内容を知っていただく機会にもなり、コロナ禍収束後の訪問を希望する施設もあった。
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。 DVDを視聴する時、「プロの歌手のような歌が見られ」と期待してしまうのは見せられる側からすれば当然である。訪問の代替に作成したものではあったが、特に私たちの活動内容を知らない人々には期待を裏切ってしまう場合もあったようで、がっかりされたケースもあった。歌を聴かせるのではなく自ら歌うための活動だと言うことを知っていただくためにも、高齢者施設以外の方々への活動をアピールできないかと試みた。きっかけはコロナ禍がやや緩和した時期に依頼された地域サロン活動への参加であった。私たちの活動を知っていただくと同時に、内容を知らない方々にこのDVDはよい案内にもなり、また早速取り入れてくださるサロンもあり今後の広がり期待している。収束の見えないコロナ禍にあって次年度にはサロン活動への参加を視野に入れて活動を維持していきたい。

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

「ふるさと」収録風景

撮影年月日：2022年9月5日



作成した配付用DVD 2種類

撮影年月日：2022年7月10日, 12月2日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称: コロナ禍における施設訪問代替(動画作成)事業

1【収入】

項目	金額	説明(積算等)
事業収入	0	
寄附金収入	28,500	DVD制作協力金(実費) 500円×(春編28+秋編29)枚=28500
補助金収入	81,540	市川市市民活動団体事業補助金
その他 (助成金等)		
会費充当	68,983	団体の本会計より充当
補助金返還	-8,563	
合計	170460	

2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明(積算等)
報償費	75,000	70,000	外部講師等の招へいなし DVD編集・原版作成春分40000円+秋分35000円
交通費	26,287	12,000	メイン曲収録日の交通費 機材搬入時の駐車料金1,800円を含む
消耗品費	49,099	45,000	DVD盤一式 500円×(20+51+10)枚 DVD用紙代2,099円 インク代6500円
通信運搬費	10,954	10,954	DVD送料、アンケート返信切手代
使用料及び賃借料	9,120	8,000	収録会場費 7/4 1,550円、9/5 2,570円 録音機材レンタル代 5,000円
合計	170,460	145,954	

※ 領収書(原本)を添付してください。

様式第12号(第11条関係)

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和5年 3月27日

市川市長

団体名 市川ジュニアBリーグ

(団体番号 25)

代表者名

所在地

令和4年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	838,562円
(2) 補助対象経費総額	310,802円
(3) 補助金交付決定額	150,000円
(4) 補助金交付概算払額	150,000円



(5) 実施報告

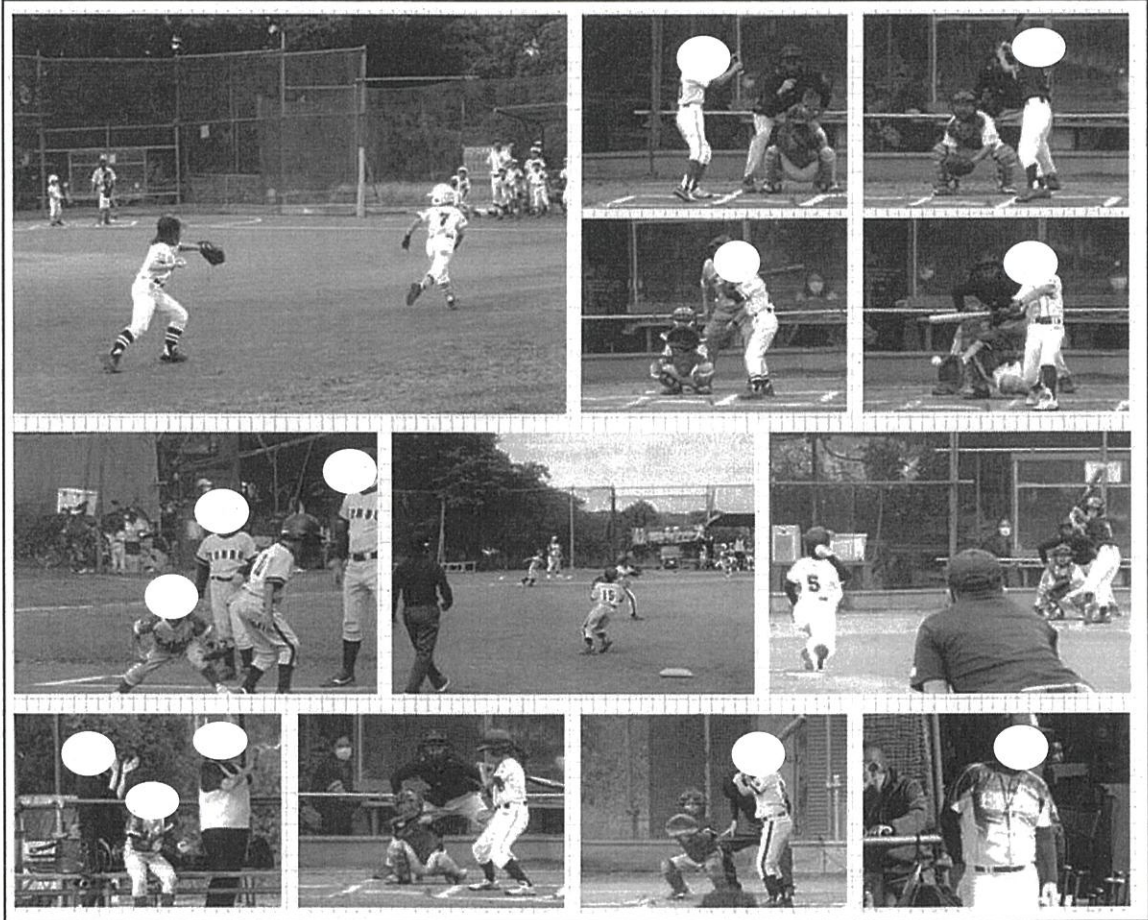
<p>補助決定事業の名称</p>	<p>子どもの健全育成を図る小学校低学年野球大会の開催事業</p>
<p>補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)</p>	<p>計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。 【実施状況】 過去2年間と比較して令和4年度は感染防止対策を徹底しながらではありますが、順調に活動できた、まさにウィズコロナの年度でした。 3月27日、柏井リーグ開会式は3年ぶりに全チーム全員参加で開催しました。若葉が芽生える春が過ぎ、新緑の森が梅雨の水を蓄え、真夏の太陽が深緑の森を作り、実りを結ぶ秋を迎えるまで、毎週毎週、野球少年たちを緑の森に囲まれた野球場へ招待しました。9月25日、ベルカップ大会が開始されました。2か月間のベルカップ大会、子供たちは柏井リーグで練習した成果を発揮しました。柏井少年広場に明るく元気な歓声が響きました。子供たちの明るく元気な姿を見るたび、ウクライナ侵略による戦禍を思い、平和であることの大切さを感じる一年でもありました。 本年度の柏井リーグには30チームが加盟し、415人(うち女子選手53人)の子供たちが4から11月まで延べ207試合を楽しみました。また、ベルカップ大会には30チーム505人(うち女子選手62人)の子供たちが参加し55試合を実施しました。延べ試合数は262試合(リーグ戦207試合、ベルカップ55試合)とコロナ前の試合数を開催することができました。 【実施内容】 柏井リーグの事業目的である「小学校低学年児童を対象とした野球ゲームの開催事業」により青少年の健全育成は実現できました。</p>
<p>広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)</p>	<p>市川ジュニアBリーグ(通称:柏井リーグ)のホームページにて広く市民に広報しています。</p>
<p>補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)</p>	<p>補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。 柏井リーグには30チーム、415名の子供たちが4月から11月まで楽しく野球をしました。また、ベルカップ大会には30チーム505名の子供たちが参加しました。延べ試合数は262試合(リーグ戦207試合、ベルカップ55試合)でした。市川市有数の自然豊かな森に囲まれた柏井少年広場に子供たちの歓声が響き渡りました。子供たちは指導者及び保護者と一緒に野球をする中で野球をすることが何より楽しいこと、勝った時の嬉しさ負けた時の悔しさ、チームメイトへの思い遣り、努力を継続する大切さ、最後まで諦めないことの大切さ等々を体験しました。保護者は子供との触れ合いが多くなり家族の絆が深まった幸福感を感じると共に地域で協働して子供たちを育成することの大切さを経験しました。また、清掃作業等を通してボランティア活動に対する充実感を持ち地域に愛着を感じるようになりました。 子供たちが野球を好きになり将来の夢や希望に繋がることは嬉しいことです。子供たちが礼儀、感謝、思い遣りなどの心を成長させていることは、「青少年の健全育成」という柏井リーグの活動目的が達成できた証だと思えます。</p>
<p>補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)</p>	<p>補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。 少子化とスポーツの多様化によって野球をする子供たちが減少している現状があります。問題はグラウンド確保と保護者の意識変革の2点だと思えます。市川市のような都市部スポーツ全体に言えることですがグラウンド確保が大問題です。市川市は志ある方々の力により、地主の持つ土地が少年広場となっています。そして1%支援制度及び市民活動団体事業補助金のお蔭で安全で使い易い球場となっています。柏井リーグのコンセプトは行政でなければ出来ないことは行政にお願いし、整備清掃等ボランティアの力で出来ることは自分たちで行う。それが地域財政への貢献であり、地域への愛着を醸成する行動であると考えています。 一方、保護者の意識変革については、従来から野球は保護者のお茶当番や根性論的指導が問題とされ、少年野球を敬遠する雰囲気がありました。少年野球人口減少に歯止めをかけることが最も重要なこととなっています。WBCでの大谷選手の活躍などにより子供たちの目が野球に向いてくれることを願います。子供たちに最も身近な少年野球チームが参加する柏井リーグが「子供も大人も柏井リーグに来て楽しい、やって楽しい、見て楽しい」そんな少年野球を提供して子供を持つ保護者がもっともっと積極的に少年野球に加わりたいと思うような魅力溢れる野球ゲームを提供する努力をしたいと思えます。</p>

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル : ベルカップ大会の試合の様子

撮影年月日 : 令和4年10月16日



タイトル : グラウンド整備の様子

撮影年月日 : 令和4年3月13日、令和4年9月18日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称: 子どもの健全育成を図る小学校低学年野球大会の開催事業

1【収入】

項目	金額	説明(積算等)
事業収入	667,000	柏井リーグ参加費1チーム13,000円×29チーム、 ペナルティ大会参加費1チーム10,000円×29チーム
寄附金収入	0	
補助金収入	150,000	いちサポ補助金
その他 (助成金等)	0	
会費充当	21,562	団体の本会計より充当
合計	838,562	

2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明(積算等)
報償費	148,659	0	記念品(優勝、準優勝、第三位、敢闘賞の8チーム分のトロフィー、メダル等の大会賞品)、賞状印刷、審判講習会弁当代
交通費	0	0	
消耗品費	456,783	310,802	石灰、砂・碎石、発電機ガソリン200L、除草剤、審判用具、文房具等、草刈機のメンテナンス費、発電機のメンテナンス費、グラブ整備材、防球ネット・ベンチ等の補修材料、整備道具(散水ホース等)
印刷製本費	161,870	0	案内状、会議資料、駐車券、活動報告書等の印刷費
通信運搬費	10,914	0	通信費
保険料	15,390	0	スポーツ保険料
使用料及び賃借料	44,946	0	会場使用料、AED
合計	838,562	310,802	

※ 領収書(原本)を添付してください。

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和5年2月15日

市川市長

団体名 東部マンドリーノ

(団体番号 29)

代表者名

所在地

令和4年7月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	419,836	円
(2) 補助対象経費総額	149,470	円
(3) 補助金交付決定額	150,000	円
(4) 補助金交付概算払額	150,000	円



(5) 実施報告

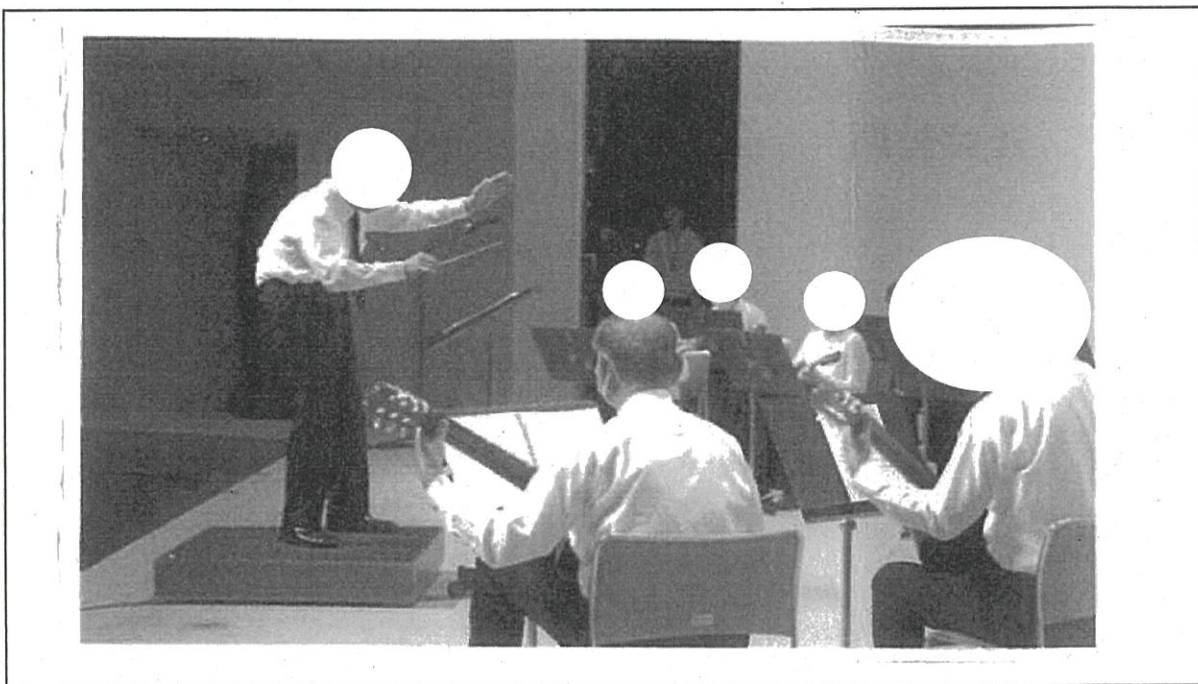
補助決定事業の名称	マンドリン演奏による地域への文化活動推進事業
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	計画どおりに出来たこと ・令和4年7月10日、市川市市川文化会館小ホールにて第16回演奏会を開催しました。 コロナ渦のため感染対策に重点を置き、万全の体制で行い無事に終了することができました。 入場者は237名、市川市内131名、市外は106名でした。
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	・コロナ対策のため7月の市報のみ広報しました
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。 ・新型コロナウイルス感染拡大により第16回演奏会を除き、各行事のコンサートは全て中止になりました。
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。 ・第16回演奏会のみかろうじて開催されました。 来場者数も例年に比し少ない人数でしたがご来場者の方々から喜んでいただき演奏の喜びを実感いたしました。 ・今後はボランティア演奏を実態に合わせながら徐々に増加してゆきたいと考えています。

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル : 第16回マンドリン演奏会

撮影年月日: 令和4年7月10日



タイトル : 第16回マンドリン演奏会

撮影年月日: 令和4年7月10日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称：マンドリン演奏による、地域の文化活動推進事業

1【収 入】

項 目	金 額	説 明(積算等)
事業収入		
寄附金収入		
補助金収入	150,000	
その他 (助成金等)		
会費充当	345,101	団体の本会計より充当
補助金返金	-75,265	概算払額150,000円-実績確定額74,735円
合 計	419,836	

2【支 出】

項 目	支出金額	うち補助対象金額	説 明(積算等)
報償費	208,000	60,000	指揮20,000円、司会10,000円、プロ演者20,000円、録音10,000円 対象外：受付6名×3,000円=18,000円、指揮指導130,000円
交通費	11,620	0	対象外経費
消耗品費	7,508	0	インク3,172円、CD3,000円、その他1,336円
印刷製本費	13,165	0	チラシ3,490円、プログラム6,225円、その他3,450円
通信運搬費	19,653	0	ハガキ切手15,125円、その他4,528円
食糧費	21,200	0	昼食代等
使用料及び賃借料	137,190	89,470	会場費89,470円、対象外：公民館使用料47,720円
原材料費	1,500	0	対象外経費
合 計	419,836	149,470	

※ 領収書(原本)を添付してください。

様式第8号（第8条関係）

市川市市民活動団体事業補助金軽微変更届出書

令和5年2月15日

市川市長

団体名 東部マンドリーノ

(団体番号 29)

代表者名

所在地

令和4年7月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業の軽微な変更をしたいので届け出ます。

記

1 補助決定事業の名称

マンドリン演奏による、地域の文化活動推進事業

2 変更の内容

予定していた以下内容の中止

- ・東部公民文化祭
- ・ふれあいコンサート
- ・高齢者福祉施設訪問演奏

3 変更の理由

コロナ禍のため



様式第7号 (第8条関係)

市川市市民活動団体補助決定事業 (中止・廃止) 承認申請書

令和5年3月31日

市川市長 村越裕民 様

団体名 鬼越ふるさと会
(団体番号 〇〇 /)
代表者名 [REDACTED]
所在地 [REDACTED]

令和4年4月 / 日付で交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業の (中止・廃止) の承認を受けたいので申請します。

記

- 1 補助決定事業の名称
真間川歩け歩け大会
- 2 (中止・廃止) の理由
新型コロナウイルス感染予防のため中止した。



様式第7号（第8条関係）

市川市市民活動団体補助決定事業（中止・廃止）承認申請書

2023 年 3 月 30 日

市川市長

団体名 まちづくり家づくり CafeIchikawa
(団体番号 3932)
代表者名 XXXXXXXXXX
所在地 XXXXXXXXXX

2022 年 7 月 1 日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業の（中止・廃止）の承認を受けたいので申請します。

記

1 補助決定事業の名称

クロマツのある風景 2022

2 （中止・廃止）の理由

一般市民を対象にした、まち歩きを中心に、地域の景観、地域の歴史、地域の文学作品などを学びまちづくりに活かす啓蒙活動を進めて来た。
コロナ流行のため会員の参加意欲低下で活動が停滞し、企画、実施の面で後継人材が不足のため止むを得ず行事の全部を中止するに至った。



市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和5年3月27日

市川市長 田中 甲 様

団体名 いくじネットいちかわ

(団体番号 33)

代表者名

所在地

令和4年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	145,515円
(2) 補助対象経費総額	129,775円
(3) 補助金交付決定額	75,000円
(4) 補助金交付概算払額	75,000円



(5) 実施報告

補助決定事業の名称	親子の絆づくりプログラムBP「赤ちゃんがきた！」開催事業	
<p>補助決定事業の実施内容</p> <p>(計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)</p>	<p>計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。</p> <p>コロナ禍、初めて子育てしている人同士が出会い交流する場が少なくなっているため、「親子の絆づくりプログラムBP「赤ちゃんがきた！」」の告知を出したとたん、定員の数倍の申込みがあり、急遽、会場2か所で午前午後の開催に増やすことになりました。</p> <p>①八幡開催：於)市川教育会館2階和室 参加者を市川近辺の方を午前の部、八幡近辺の方を午後の部に分けて実施 6月13日・20日・27日・7月4日(月) 午前の部：10時15分～11時45分 10組20名申込み 午後の部：13時～14時30分 10組20名申込み 4日間参加延べ人数 午前37組74名、午後38組76名、計150名 BPファシリテーター：[]さん 最終日、市内私立幼稚園で子育て支援を担当している方が見学に来られました。0才向けの子育て支援クラスで取り入れてもらえるように説明しました。</p> <p>②プログラム実施中も参加希望の間合せがあり、午前と午後の参加者と、定員オーバーで参加できなかった人も声掛けして交流会を開催。広い会場が必要なため探していたところ、日出学園幼稚園園長先生が幼稚園のホールを貸してくださいました。 7月11日(月)10時～11時30分 於)日出学園幼稚園 21組申込み 当日参加 20組40名</p> <p>③妙典開催：於)あじさい保育園3階子育て支援室まいまいルーム 八幡開催申込者のうち、行徳方面の方にはこちらの日程に回ってもらい、追加で募集をして、午前午後の開催を実施。 7月6日、13日、20日、27日(水) 午前の部：10時15分～11時45分 11組22名申込み 午後の部：13時～14時30分 10組20名申込み 4日間参加延べ人数 午前38組76名、午後31組62名、計138名 BPファシリテーター：[]さん</p> <p>④2月5日(日)13時～14時 いくじネットいちかわ代表宅にメンバーが集まり話し合いを実施 当初の予定は八幡・行徳・オンライン3回開催だったが、希望人数が多く、その対応ですでに4回開催したことで、講師の予定が合わないことから今年度の追加開催は行わないことに決定。 人気のある企画だけに、殺到した場合の対応が我々だけでは困難なので、来年度の開催は見送ることに決定。 その後、市内の私立幼稚園で子育て支援の取組をされているところに、プログラムの紹介をする。(2月24日、3月3日、3月23日、3月24日)</p> <p>講座内容(各回共通) 第1回「新しい出会い」参加者同士の紹介・交流 第2回「赤ちゃんのいる生活」一日の過ごし方について 第3回「赤ちゃんとの接し方」 第4回「親になること」</p>	<p>受益者数 (うち市民の数)</p> <p>328人 (328人)</p>
<p>広報の実施状況</p> <p>(市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)</p>	<p>いちかわ子育てネットワークのLINEにて告知</p>	
<p>補助決定事業の成果</p> <p>(課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)</p>	<p>補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。</p> <p>「親子の絆づくりプログラムBP「赤ちゃんがきた！」」は、コロナ禍に妊娠・出産をされた人が、同じ境遇の子育て仲間を作ることにとっても適したプログラムです。 4週連続同じメンバーが、テーマに沿って話し合うことで、「みんな一緒なんだ」と気づくことができ、安心してお友達になることができます。 この講座でつながった人たちは、この後、連絡を取りながら、子育てを乗り越えていっています。 参加者と他のイベントでお会いすることもあり、元気に子育てしている姿が見られることもとても嬉しいことです。 子育て仲間とつながり、私たち支援者や地域とつながるきっかけ作りになっています。</p>	
<p>補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策</p> <p>(今後の方向性)</p>	<p>補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。</p> <p>この講座のニーズは高く、希望者が殺到するため、一団体での実施が難しい状況となっています。 他団体でも似たようなプログラムを実施してもらえないか交渉したところ、支援センターの一つが5か月赤ちゃん講座を開催してくれました。 告知と同時に定員に達するくらいの人気で無事開催できたそうです。 私立幼稚園でも子育て支援の取組が広がっているため、今後は、このプログラムの良さを伝えながら、子育て支援拠点での常時開催ができるように働きかけていきます。</p>	

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

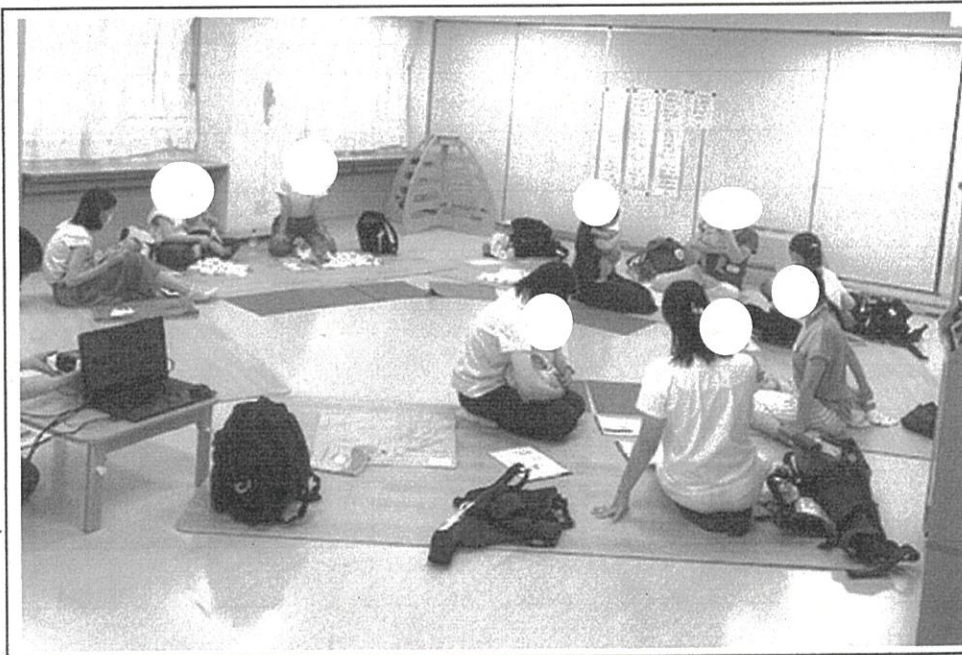
タイトル : 市川教育会館での開催

撮影年月日: 令和4年6月27日(午後の部)



タイトル : あじさい保育園での開催

撮影年月日: 令和4年7月27日(午前の部)



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称: 親子の絆づくりプログラムBP“赤ちゃんがきた!”開催事業

1【収入】

項目	金額	説明(積算等)
事業収入	-	
寄附金収入	-	
補助金収入	75,000	市川市市民活動団体事業補助金
その他 (助成金等)		
会費充当	80,628	団体の本会計より充当
補助金	-10,113	補助金返金分
合計	145,515	

2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明(積算等)
報償費	120,000	105,000	外部講師等の招へい <input checked="" type="checkbox"/> あり / なし 30,000円×4開催 (貸し出し用テキスト代@1,100円、交通費含む)
交通費	6,940	6,200	子の神公園-本八幡440円×4回、子の神公園-妙典 1,100円×1回、鬼越-菅野280円、本八幡-妙典660円、 駐車場代800円×2、770円×2
消耗品費	5,635	5,635	ラベルシール 734円、コピー用紙 327円 のり 273円、インク 4,301円
印刷製本費	0	0	チラシ・資料はプリンターで印刷したため使用せず
通信運搬費	2,540	2,540	チラシ・資料送付切手代 94円×10 テキスト・アンケート返却切手代 390円×2 アンケート送付切手代 120円×2 報告書・資料送付 120円、210円、250円
保険料	0	0	
使用料及び賃借料	10,400	10,400	市川教育会館講座(午前午後)2,600円×4回
原材料費	0	0	
合計	145,515	129,775	

※ 領収書(原本)を添付してください。

様式第8号（第8条関係）

市川市市民活動団体事業補助金軽微変更届出書

令和5年3月27日

市川市長 田中 甲 様

団体名 いくじネットいちかわ

（団体番号 33 ）

代表者名

所在地

令和4年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業の軽微な変更をしたいので届け出ます。

記

1 補助決定事業の名称

親子の絆づくりプログラムBP“赤ちゃんがきた！”開催事業

2 変更の内容

対面開催回数の2回追加・交流会の開催・オンライン開催の中止

3 変更の理由

参加希望者が殺到し、6月に八幡で午前午後2回、7月に妙典で午前午後2回続けて開催したため対面開催が2回追加となりました。また、八幡の参加希望者が多かったため交流会を開催しました。講師の都合が合わず、オンラインの開催は中止にしました。



様式第12号(第11条関係)

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和5年3月16日

市川市長 田中 甲 様

団体名 子育て応援メッセ実行委員会

(団体番号 34)

代表者名

所在地

令和4年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	440,884円
(2) 補助対象経費総額	282,709円
(3) 補助金交付決定額	150,000円
(4) 補助金交付概算払額	150,000円



(5) 実施報告

補助決定事業の名称	子育て家庭・妊婦さん向けイベント開催事業	
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	<p>計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。</p> <p>今年度は、会場を1年前に押さえて、計画通り実施することができました。</p> <p>4月22日(金)第1回打合せ兼交流会開催(全日警ホール2階第3会議室) 出展団体スタッフと2組の親子が参加。コロナ禍、家ではできないような体験を取り入れられるか検討。 (参加者大人17人、子ども2人、スタッフ3人)</p> <p>5月20日(金)第2回打合せ兼交流会開催(全日警ホール2階第3会議室) 昨年はコロナで参加できなかった出展団体の参加もあり、団体同士の交流が活発に行われ、出展団体同士のコラボ企画も昨年に引き続き行われることになりました。 (参加者大人20人、スタッフ3人)</p> <p>6月24日(金)子育て応援メッセージinいちかわ開催 (全日警ホール1階ホール、2階展示室・第3会議室) 昨年同様、午前午後2部入替、事前申込み制にして、いちかわ子育てネットワークの公式LINEやいちかわこWEBにイベント告知を掲載したところ、午前・午後とも定員を超す申込みがあり、そのほとんどが0才児親子でした。初めて子育てしている人たちへ、お出かけ場所や子育てサポートの紹介をすることができ、イベントの目的が達成できました。また、ハイハイレースのお手伝いに、1才児親子2組が来てくださり、子育てしながらイベントに関わる姿を見た参加者が「来年自分たちもお手伝いしたい」と言っていました。 (参加者午前50組110人・午後53組111人、出展者大人88人・子ども8人、スタッフ9人)</p> <p>7月22日(金)第3回打合せ兼交流会開催(全日警ホール2階第3会議室) 子育て応援メッセージにお手伝いに来てくれた親子1組が参加。イベントの感想や自分が妊婦だったころの話を聞くことができました。 (参加者大人11人、子ども1人、スタッフ2人)</p> <p>8月26日(金)第4回打合せ兼交流会(全日警ホール2階第3会議室) 新しい企業が参加。市川市のプレ親学級が動画配信のみで、妊婦さん夫婦の沐浴体験希望が多いので、赤ちゃん人形を4体準備し、市川市保健センターや産院の協力を得て、体験を実施することにしました。 (参加者大人16人、スタッフ3人)</p> <p>9月4日(日)ハッピーマタニティフェスタ開催(全日警ホール1階ホール、2階第3会議室) 1階ホールが混雑しないように2階第3会議室で体験を実施したところ、体験を希望される方が多く、逆に2階が混雑してしまいました。パパ向けの調乳指導や抱っこ紐体験はとても人気で、コロナ禍、妊婦検診への付き添いや産後の面会ができない中、プレパパたちがいろいろな体験をしてみたいという熱意を感じました。 (参加者47組92人、出展者55人、スタッフ7人)</p> <p>12月16日(金)第5回ふりかえり兼交流会開催(zoomによるオンライン開催) 今年度のイベント感想やコロナ対策に関する意見等を出し合い、コロナも3年目に入り、安心できる感染対策を求める人、子育て情報を欲しい人、ちょっとした相談をしたい人、親子で楽しめるものを求める人等、参加者の要望も多様化していると感じられました。2月にオンラインでの「子育て応援メッセージ」を開催することになり、その内容と準備に必要なことを話し合いました。 (参加者大人6人、スタッフ4人)</p> <p>1月20日(金)第6回オンラインメッセージ打合せ兼交流会開催(zoomによるオンライン開催) 寒い時期、外出しにくい乳児のいる家庭や、里帰り中の方、産前産後の方を主な対象として「オンライン・子育て応援メッセージ」を開催し、参加者に当日の資料をレターパックで送り、対面イベントに参加したのと同様な楽しみ方を検討しました。 (参加者大人10人、スタッフ4人)</p> <p>2月17日(金)オンライン・子育て応援メッセージinいちかわ(zoomによるオンライン開催) 予定人数を超す申込みがあり、里帰り中、出産後すぐの人など、外出が難しい方も参加でき、事前に集めた質問に専門スタッフが丁寧に回答してくれたことが好評でした。 (参加者32人、出展者11人、スタッフ6人)</p> <p>年間を通して、各イベントの出展団体の紹介をブログやLINEで発信し、イベントに参加できない方にも情報提供を行いました。</p>	<p>受益者数 (うち市民の数)</p> <p>イベント参加者 590人 (564人)</p> <p>子育て情報提供 不特定多数</p>
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	<p>いちかわ子育てネットワークのLINE配信を中心に、インスタグラム、ブログ等、SNSで情報発信しました。</p> <p>チラシを地域子育て支援拠点(支援センター・親子つどいの広場)と市川市保健センター・アイティ、こども館に置いてもらいました。</p> <p>マタニティフェスタの時は産院(3か所)にもチラシを置いてもらいました。</p> <p>イベントのブログ(https://ameblo.jp/ouenmesseichikawa/)をイベント前はほぼ毎日発信することによって、イベントの告知だけでなく、子育て情報の発信にも効果がありました。</p>	
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	<p>補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。</p> <p>コロナ禍、人と人が交流することが避けられ、同じくらいのお子さんを連れて人に気軽に声をかけられなくなっている今、情報収集やお友達作りができずに困っている子育て家庭はたくさんいます。その方たちが、イベントに参加することによって、同じ年頃のお子さんを連れての方がこんなにたくさんいるのだということを実感し、子育てを応援する様々な取り組みがあることを知り、気軽に相談したり、日頃のちょっとした悩み事を話したりすることができたと感じています。</p> <p>子育て支援者だけで実施するイベントではなく、現在子育て中の方がお手伝いに来てくれたり、企画案を出してくれたりすることによって、参加した人たちが自分たちも主体的に動いてみようと思ってくれたところが、このイベントの良さだと思います。</p> <p>妊娠さんとプレパパ向けのマタニティフェスタ、産前産後の方が参加しやすいオンライン・子育て応援メッセージ、地域とのつながりを体感できる子育て応援メッセージ、3つのイベントが「妊娠・出産・子育て」を継続的にサポートする流れを作っています。</p>	
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	<p>補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。</p> <p>コロナ禍3年目で感じたのが、参加者の要望の多様化でした。</p> <p>積極的に活動している人からは、さらに楽しい体験が求められ、逆に、まだまだイベント参加に不安を感じる人もいて、コロナ対策や対応の仕方にも注意が必要です。</p> <p>私たちがボランティアでできることには限りがあるので、すべての要望に応えることはできませんが、当事者の声を聞き、その背景を考え、子育てを前向きにとらえてもらえるように、臨機応変に対処していきます。</p> <p>このイベントには、子育て支援の現場を持つたくさんの方のメンバーがいるので、それぞれの現場から見てくる子育て当事者の様子を参考にしながら、しばらく続くコロナ禍の閉塞感に対応していきたいと考えております。</p>	

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

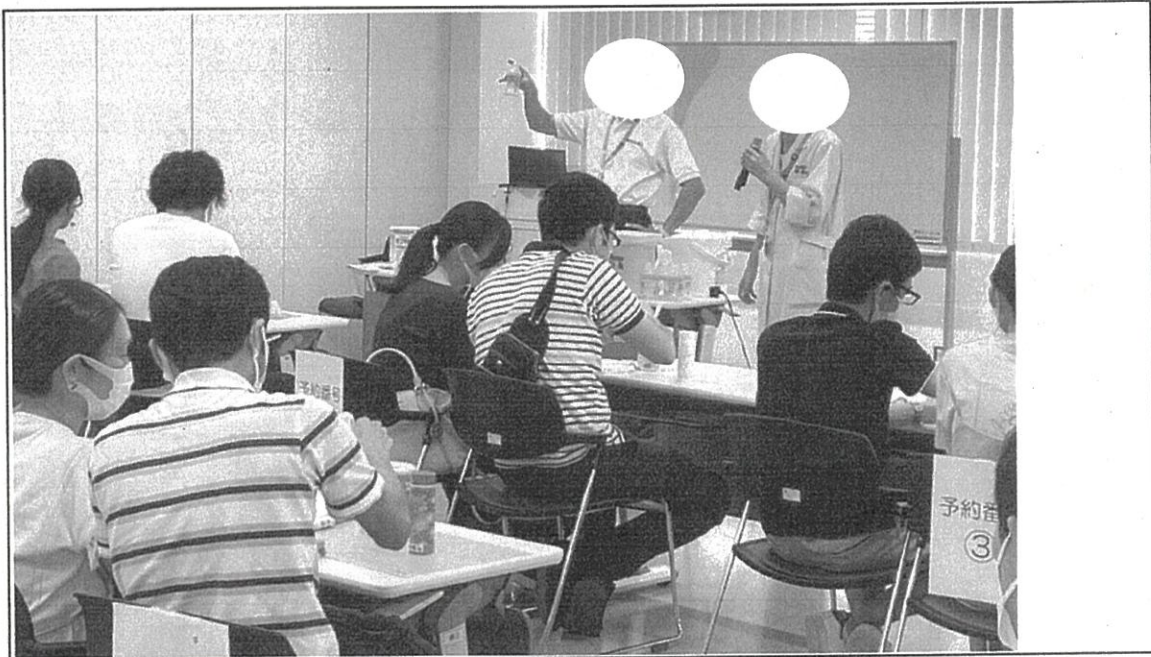
タイトル : 子育て応援メッセinいちかわ

撮影年月日 : 令和4年6月24日



タイトル : ハッピーマタニティフェスタ

撮影年月日 : 令和4年9月4日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称: 子育て家庭・妊婦さん向けイベント開催事業

1【収入】

項目	金額	説明(積算等)
事業収入	252,000	出展・冊子協賛金10,000円×18、5,000円×12、3,000円×4
寄附金収入	0	
補助金収入	150,000	市川市市民活動団体事業補助金
その他 (助成金等)	0	
会費充当	47,530	団体の本会計より充当
補助金	-8,646	市川市市民活動団体事業補助金返金
合計	440,884	

2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明(積算等)
報償費	80,000	80,000	外部講師等の招へい <u>あり</u> なし 5,000円×2名、10,000円×7名
交通費	9,000	8,280	マタニティ当日駐車場代 900円×3、1,100円×1 スタッフ交通費 @280円×1名、@660円×2名、@720円×5名
消耗品費	27,991	27,991	文具類: のり 110円、セロテープ 110円 クリップ 110円、小分け袋 110円×3 クリアポケット 110円、領収書 110円 クリアファイル 868円 カードケース 660円、リボン 110円 スタンプインク 990円 厚紙 1,815円、コピー用紙 795円、1,667円 インク 4,620円、5,380円、2,310円 キッチンペーパー 261円 ゴミ袋 184円、215円 乾電池 748円、957円 養生テープ 871円、286円 コロナ対策: 消毒液 1,494円 リストバンド 2,880円
印刷製本費	73,978	73,978	配布資料印刷代 465円、2,000円、145円 チラシ印刷代 1,848円 子育て情報誌印刷500部 69,520円
通信運搬費	18,895	12,300	チラシ・資料等送付切手・はがき 140円×30、63円×15、140円×11 レターバック 370円×33
保険料	0	0	
使用料及び賃借料	80,160	80,160	交流会会場 3,300円×4回 子育て応援メッセ会場費 36,230円 マタニティフェスタ会場費 30,610円
原材料費	0	0	
飲食費	965		スタッフ・講師用お茶12本
スタッフ費	149,895		ボランティア謝礼(クオカード8名分) 7,920円 ボランティア謝礼(クオカード5名分) 4,975円 スタッフ活動費・ブログ掲載通信費等 2,000円×1、3,000円×1、5,000円×1、 8,000円×1、13,000円×2、15,000円×1 35,000円×1、43,000円×1
合計	440,884	282,709	

※ 領収書(原本)を添付してください。

様式第12号(第11条関係)

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和5年3月27日

市川市長 田中 甲 様

特定非営利活動法人
団体名 いちかわ子育てネットワーク
(団体番号 35)
代表者名 XXXXXXXXXX
所在地 XXXXXXXXXX

令和4年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	90,544円
(2) 補助対象経費総額	49,220円
(3) 補助金交付決定額	25,000円
(4) 補助金交付概算払額	25,000円



(5) 実施報告

補助決定事業の名称	子育てに関わる人たちのためのレベルアップセミナー開催事業	
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	<p>計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。</p> <p><レベルアップセミナー2022> 第1弾：7月29日(金)10時～12時 於)全日警ホール2階第3会議室 「～保育園・幼稚園・こども園 何が違うの?～ 様々な教育・保育施設を知ろう!」 幼稚園・保育園・幼稚園型認定こども園・保育所型認定こども園・幼保連携型認定こども園・企業主導型保育事業、いろいろな形の保育施設があるなかで、それぞれの違いは何か?働いている人、これから働こうとしている人が教育・保育施設を探る場合、比べる基準は何か?を学ぶために、それぞれの園関係者に来ていただき、お話を伺った。 参加者：17組34名 登壇者：3名 保育協力：6名 見学者：1名 スタッフ：2名 第2弾：9月28日(金)10時～11時30分 於)全日警ホール2階第3会議室 「保育園入園に向けてどうすればいいの??」 7月に開催した第1弾の反響が大きく、告知半日で予定数を超える応募があったことと、保育園入園手続きについて市の窓口で説明を受けてもよくわからないという声が多かったため、急遽、第2弾を追加開催。テーマも保育園入園手続きに絞り、講師を市川市こども施設入園課職員にお願いする。 参加者：20組35名 登壇者：1名 保育協力：1名 見学：1名 スタッフ：2名 第3弾：11月13日(日)10時～11時30分 於)全日警ホール2階第3会議室 「産後パパ育休、知ってる? 取っている人はどうしてる?」 10月1日より「産後パパ育休(出生時育児休業)」が始まったが、市のプレ親学級も動画配信で、出産する病院での両親学級も中止やオンライン、病院内の付き添いもできなくなっているため、初めて子育てするパパがどうしていいかわからない状況だという声を受けて、産後のパパの役割、赤ちゃんのお世話体験をテーマにセミナーを開催。 講師はいちこネットのメンバーで行う。 参加者：7組14名 講師：4名 スタッフ：3名 <つながる勉強会> 2月24日(金)18時～20時15分 於)全日警ホール2階第2会議室 市川市こども家庭支援課子ども家庭支援センター担当者、保健センター職員、アイティ担当者より、今年度の事業や相談受付状況を報告していただき、いちこネットのLINE相談についての報告も行う。参加者も、それぞれの活動を通して感じることを発表していただき、全員で課題を共有した。 参加者：9名 市関係者3名 スタッフ3名 <レベルアップセミナー追加企画> 第1弾の教育・保育施設に関するセミナーに関心がとても高かったため、年度が替わる春休みに入る時期に「幼稚園」に関するセミナーを追加開催することを決定。共働き＝保育園ではなく、幼稚園も工夫次第で選択肢になることを伝える。 3月23日(木)10時～12時 於)行徳公民館 新館1階多目的ホール 参加者：4組6名 登壇者：5名 スタッフ：3名 3月24日(金)10時～12時 於)全日警ホール2階第3会議室 参加者：15組26名 登壇者：2名 スタッフ：4名 北部と行徳に会場を分けて、それぞれ近隣の幼稚園2～3園をお呼びして、幼稚園とはどんな場所で、どのような教育・保育を行っているのかを知る機会を作る。行徳は少人数だったが、先生方との懇談もできて、今後の幼稚園選びに役に立ったという感想があった。八幡はこの幼稚園にするか考えている人よりも、保育園に預けている人が有給休暇を取って参加したり、4月から保育園に預けることになっているが3才からの教育に関心のある方、保育園に入れなかった人などが来られていた。目的通り、共働きでも幼稚園が選択肢の一つとして考えられることが伝わったと思う。</p>	
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	<ul style="list-style-type: none"> ・いちこネットのLINEで発信 ・関係者にメールで直接お知らせを送る ・いちかわっこWEBでイベント情報掲載 ・ブログ等のSNSで告知 ・地域子育て支援センター、親子つどいの広場等、子育て支援拠点に案内状送付 	
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	<p>補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。</p> <p>いちこネットのLINE登録者数も増え、妊婦さん・0～1歳の親子の登録が多いので、「保育園」「赤ちゃんのお世話」をテーマにしたイベントは、どれも告知からすぐに定員に達する状況でした。 窓口相談したり、ネットで調べても、まだまだわからないことが多く、初めて子育てしている人、初めてお子さんを教育・保育施設に預ける人は、不安な状況に置かれています。 今回の反響の大きさはその表れだと感じました。 我が子の乳幼児期を豊かに過ごさせたいと願う親はたくさんいるので、プラスアルファの情報や豊かに過ごすためのヒントを提供するセミナーを、今後も市の補助金を利用して行ってきたいと思います。 「つながる勉強会」では、現状・課題を共有し、地域活動者と行政担当者との連携がさらに深まりました。</p>	
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	<p>補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。</p> <p>コロナ対策が緩和される中、「もう大丈夫」と思う人と「まだまだ不安」と思う人が二極化されてくると思います。 また、情報収集したいと思う人も増え、ニーズの多様化もさらに広がると思います。 市が行う事業は、市民全体に広く均等に提供されるものが多いため、多様化するニーズに当てはまらない場合もあります。 いちこネットのLINE登録者数が1,500名を越し、妊婦さん、出産後の人たちの声も届きやすくなっているので、どのタイプの人にも当てはまるような情報提供のやり方、テーマの選定を考えていながら、引き続き、セミナー等を実施していきます。 そこで、気づいたこと、把握したことを、市と共有することで、市川市内の子育て環境のレベルアップにつながることを目指します。</p>	

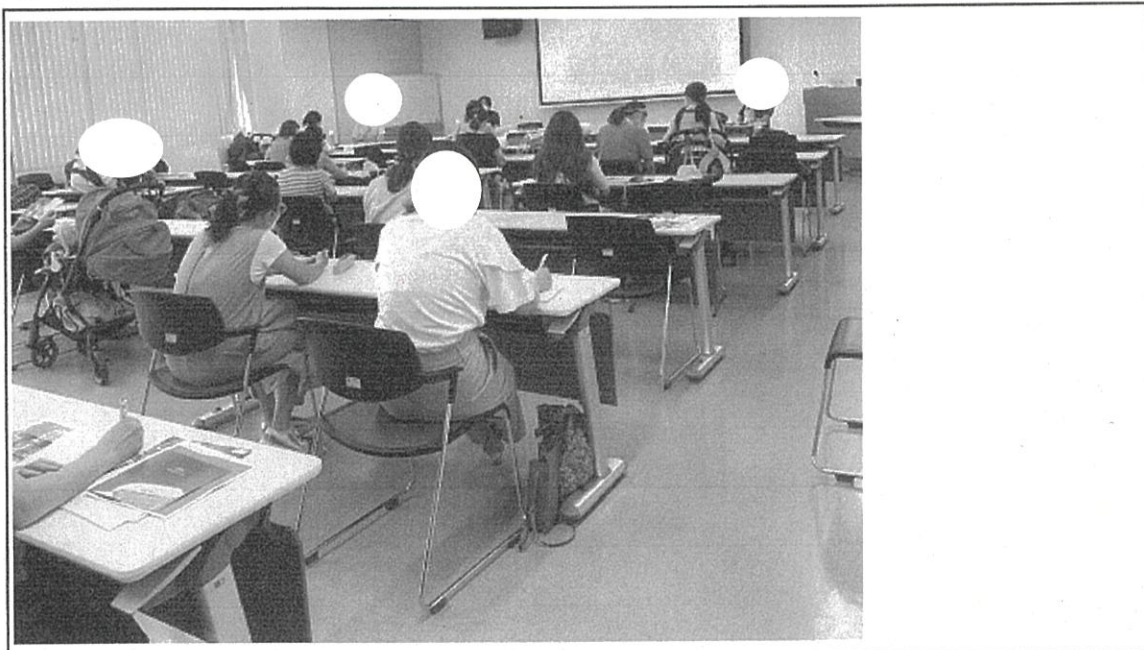
(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

レベルアップセミナー

タイトル : 様々な教育・保育施設を知ろう!

撮影年月日: 2022年7月29日



タイトル : 産後パパ育休、知ってる? とっている人はどうしてる??

撮影年月日: 2022年11月13日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称： 子育てに関わる人たちのためのレベルアップセミナー開催事業

1【収入】

項目	金額	説明（積算等）
事業収入	41,000	参加費@500円×64名、@1,000円×9名
寄附金収入	-	
補助金収入	25,000	市川市市民活動団体事業補助金
その他 （助成金等）	-	
会費充当	24,934	団体の本会計より充当
補助金	-390	補助金返金分
合計	90,544	

2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明（積算等）
報償費	22,042	22,042	外部講師等の招へい <input checked="" type="checkbox"/> あり / なし 11,021円×2名
交通費	5,720	5,720	スタッフ交通費 280円×2、720円×2、740円×1、 1,040円×1、1,140円×1 駐車場代800円
消耗品費	9,966	9,958	クリアファイル2,725円 インク代 6,930円、用紙代 311円
印刷製本費	0	0	印刷物はプリンターを使用しました
通信運搬費	1,510	1,500	お知らせはがき代63円×20 チラシ資料送付切手代250円
保険料	0	0	
使用料及び賃借料	21,240	10,000	全日警ホール4,440円×4回、1,710円×1回 行徳公民館 1,770円×1回
原材料費	0	0	
飲食費	584		スタッフ・講師お茶代
スタッフ費	29,482		ゲスト謝礼・交通費クオカード3,982円 スタッフ費@1,500円×17名分
合計	90,544	49,220	

※ 領収書（原本）を添付してください。

様式第8号（第8条関係）

市川市市民活動団体事業補助金軽微変更届出書

令和5年3月27日

市川市長 田中 甲 様

団体名 特定非営利活動法人
いちかわ子育てネットワーク
(団体番号 35)
代表者名 [REDACTED]
所在地 [REDACTED]

令和4年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業の軽微な変更をしたいので届け出ます。

記

1 補助決定事業の名称

子育てに関わる人たちのためのレベルアップセミナー開催事業

2 変更の内容

レベルアップセミナー開催回数を4回追加

3 変更の理由

7月にレベルアップセミナーの開催告知をしたところ参加希望者が多く、「保育園」「幼稚園」「こども園」「男性育休」「赤ちゃんのお世話」をテーマにしたセミナーへの要望が多数寄せられたため追加開催をしました。



様式第12号(第11条関係)

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和5年 / 月 / 日

市川市長 田中 甲 様

団体名 子育て交差点実行委員会

(団体番号 36)

代表者名

所在地

令和4年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	262,908円
(2) 補助対象経費総額	197,353円
(3) 補助金交付決定額	121,500円
(4) 補助金交付概算払額	121,500円



(5) 実施報告

補助決定事業の名称	子育て交差点行徳開催事業	
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	<p>計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。</p> <p>8月26日(金) 打ち合わせのお知らせ作成、関係者に配布 9月16日(金) 第1回打合せ兼交流会(参加者12人・スタッフ2人)</p> <p>コロナ対応を含めたイベント趣旨確認・内容検討 出展者・講師・スタッフの情報交換 体験型イベントや息抜き、気軽な相談の場を取り入れる 参加申込・アンケートフォーム作成、チラシ作成・配布開始 ブログ等にて開催内容を具体的に発信 10月21日(金) 第2回打合せ兼交流会(参加者12人・スタッフ2人)</p> <p>当日のレイアウト・コロナ対策等の確認 団体同士が連携した会場づくりについて検討 新しく参加される団体、出展者・講師・スタッフの情報交換</p> <p>10月26日(水) 参加受付開始 11月6日(日) 参加受付締め切り 11月11日(金) 子育て交差点開催 事前申込113組、当日参加者103組218人(うち市民209人) 出展者等75人、スタッフ7名 各団体の紹介、抱っこ紐チェック、ベビーダンス体験、ベビースサイン体験、ウクレレ演奏、おひるねアート、バランスボール体験、子育てコーチング、筋力測定、助産師・保健師・保育士相談、ハンドメイド作品展示等 終了後、ふりかえりの会開催(17時~18時) 参加者18人、スタッフ6人</p> <p>12月16日(金) オンラインにてふりかえりの会開催 参加者8人、スタッフ2人 今年度の見直し、来年度の企画案 スタンプラリーの実施について今後検討する ウクレレ演奏は良かったが、参加者が少なく残念 料金のかかる体験について再検討する</p>	
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	<ul style="list-style-type: none"> ・いちかわ子育てネットワークのLINEで告知 ・南行徳保健センター、山口病院にチラシ配布を依頼 ・地域のコミュニティペーパーにて告知 ・その他、ブログ・インスタグラム等、SNSを利用して情報発信 <p>http://ameblo.jp/ouenmesseichikawa/ 今年度は、紙媒体の告知を減らし、SNS等の利用に力を入れました</p>	
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	<p>補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。</p> <p>事前申込みを10月26日より開始したところ、1日で50組の申込みがあり、午前の部は10月31日で締切りとなり、11月6日には全体の受付も終了となりました。お子さんの年齢は0才児が7割、1才児が2割という状況でした。初めて子育てしている人が、このようなイベントを求めているということが感じられました。</p> <p>保健師・助産師による相談も好評で、「自ら相談に行くのは難しいので、このようなイベントで気軽に相談できてよかった」という感想も多かったです。</p> <p>今回、地元の産婦人科医院の助産師さんが参加してくださり、さらに、妊娠・出産・子育てのつながり作りができたと思います。</p> <p>今年新しく試みた「不動産屋さんのノンカフェインコーヒー提供」は好評で、会場内にコーヒーの香りが漂い、ステキな空間となりました。</p> <p>参加者は毎年新しく子育てを始めた方が来られるので、同じような内容を行っていても、感じ方・捉え方が違うこともあります。</p> <p>毎年、新しいものを取り入れながら、子育て世代のニーズを探っていきたいと思っております。</p>	
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	<p>補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。</p> <p>今年は、一昨年、昨年と比べて、イベントを楽しむ雰囲気が戻ってきたように感じられました。そのため、参加者のニーズも多様化し、イベントを楽しむ人、リフレッシュのために来られた人、相談に来られた人、いろいろな方がおられました。そのため、不満を感じる場面も増えてきたと感じます。</p> <p>すべてのニーズに十分応えるのは難しいですが、参加後のアンケート等を参考にしながら、今後のイベント内容を工夫していきます。</p> <p>参加受付も早々に締め切ってしまいましたが、当日、体調不良等によるキャンセルもあったので、来年度はもう少し受付人数を増やしても大丈夫かなと思っております。</p> <p>ただ、一部、混雑するブースもあったので、ブース配置や距離を取る工夫が必要だと感じました。</p> <p>また、「常に順番待ちしているブースには立ち寄れなかった」という感想もあったので、そういう方には一緒に会場を案内して回るスタッフの配置も検討していきたいと思いました。</p>	

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル : ベビーダンス体験の様子

撮影年月日 : 令和4年11月11日



タイトル : 休憩しながらスタッフや別の参加者と子育てについてお話しする参加者

撮影年月日 : 令和4年11月11日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称: 子育て交差点行徳開催事業

1【収入】

項目	金額	説明(積算等)
事業収入	155,000	出展・冊子協賛金10,000円×13口、5,000円×5口
寄附金収入	0	
補助金収入	121,500	市川市市民活動団体事業補助金
その他 (助成金等)	0	
会費充当	9,232	団体の本会計より充当
補助金返金	-22,824	
合計	262,908	

2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明(積算等)
報償費	55,000	55,000	外部講師等の招へい <u>あり</u> /なし ワークショップ等講師(材料費込み) 10,000円×5名・5,000円×1名
交通費	7,020	5,980	スタッフ交通費 @1,100円×1、 @770円×6、@600円×1 冊子配布時駐車場代 700円
消耗品費	13,052	13,052	リストバンド300枚 1497円、 消耗品等 1,100円、 除菌ウェットティッシュ 1,254円、 用紙代 3,056円、インク代 6,145円
印刷製本費	60,385	52,581	チラシ・資料・配布物印刷代 435円 子育て情報誌400部印刷 59,950円
通信運搬費	890	890	案内・チラシ等送付切手代 84円×10、10円×5
保険料	0	0	
使用料及び賃借料	69,850	69,850	公民館使用料 990円×2回 ホール使用料 66,940円 電源使用料・控室代 930円 (使用料減免申請なし)
原材料費	0	0	
飲食費	751		スタッフ・ボランティアお茶12本
スタッフ費	55,960		ボランティアお礼クオカード(4名分) 3,960円、 ブログ掲載通信費(29回分) 18,000円、 スタッフ通信費 5,000円×2名、 12,000円×2名
合計	262,908	197,353	

※ 領収書(原本)を添付してください。

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

2023年 2月13日

市川市長

団体名 NPO法人市川にオオムラサキを生息させる会

(団体番号 37)

代表者名

所在地

令和4年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	185,766円
(2) 補助対象経費総額	108,120円
(3) 補助金交付決定額	54,060円
(4) 補助金交付概算払額	54,060円



(5) 実施報告

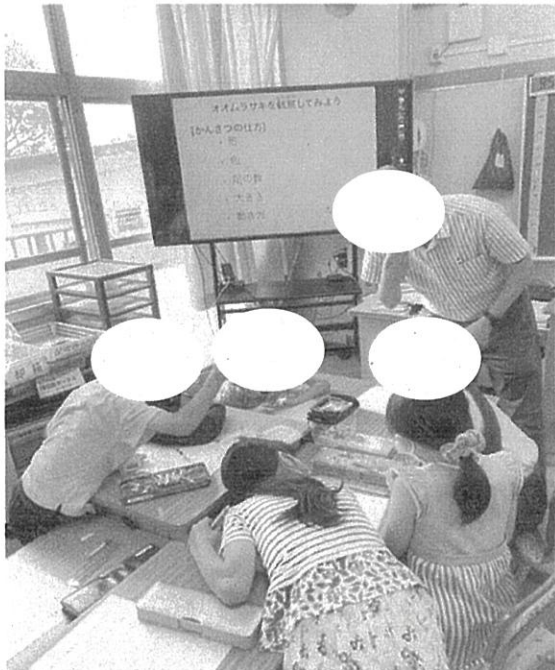
補助決定事業の名称	オオムラサキの飼育活動を通しての自然環境保全啓発事業
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	<p>計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市川市教育委員会の推薦をいただき、本年も市川市立中山小学校、若宮小学校、大柏小学校がオオムラサキの飼育協力校に参加していただいた。4月中にオオムラサキの越冬幼虫を各20頭ずつ、エノキ各3本ずつ配布し、6月には各学校の3年生児童を対象にオオムラサキの幼虫の観察を中心とした学習の場を提供することができた。 ○若宮幼稚園、富貴島幼稚園に対してオオムラサキの越冬幼虫を各10頭ずつ配布した。 ○市川駅南口図書館のご協力をいただき、6月23日～26日の4日間「オオムラサキ観察会」を開催する事が出来た。約1,200人の市民の方の参加を得た。 ○中山小学校の協力を得て、使用していないうさぎ小屋をオオムラサキの飼育舎として活用させていただく事になった。
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	<ul style="list-style-type: none"> ○年2回、「オオムラサキ通信」を市川市立中山小学校、若宮小学校、大柏小学校、若宮幼稚園、富貴島幼稚園には全児童・園児及び職員と保護者に配布した。また、本会支援者へも配布した。 ○昨年6月に支援会員募集パンフを、中山地域に新聞折込で配布した。(朝日新聞3,000部) 本年1月市川駅周辺に配布した。(明光企画3,000部) ○小学校3校の3年生児童を対象に、「オオムラサキだより」を発行した。 ○「オオムラサキ通信」の発行に伴い、本会ホームページを更新した。
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	<p>補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校教育との連携を進めることで、オオムラサキと児童・幼児の関わりが少しずつ広がりと深まりを見せ始めている。昨年まで、学校での羽化率があまり高くなかったが、幼虫、エノキ(食草)、成虫用のエサなどの支援を行う事で、羽化率が上がってきている。 ○オオムラサキを日常的に観察することで、オオムラサキに対する児童の意識も深まったと思われる。オオムラサキの学習の場面では、目の前で幼虫を観察する事ができた。子どもたちからは「かわいい!」「わー、うんちした!」等の歓声が聞かれた。 ○「オオムラサキ観察会」では、多くの市民の方に観察していただいた。オオムラサキの知名度は高いようで、「はじめて見ました。」という声とともに、興味深く観察される方が多かった。前年度より見に来て下さる方が増加した。
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	<p>補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○中山小学校の飼育舎を中心として、市川市内での産卵-成長-羽化のサイクルの実現を目指していきたい。そのための、環境整備がさらに必要である。 また、オオムラサキ関係の他の保護団体等との連携を図っていきたい。 ○会員尾高齢化に伴い、会員数が減少傾向にある。新聞折込や観察会などを通して、あらたな支援会員を増やしていく必要がある。 また、有志によるオオムラサキの飼育の輪を広げていきたい。

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

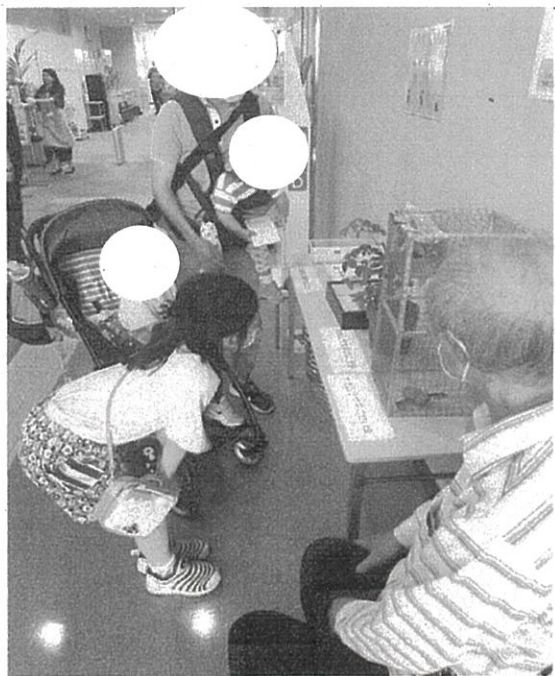
タイトル : 小学校におけるオオムラサキの学習

撮影年月日 : 2022 6.17大柏小学校にて



タイトル : オオムラサキ観察会 (市川駅南図書館)

撮影年月日 : 2022 6月23日～26日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称：オオムラサキの飼育活動を通しての自然環境保全啓発活動

1【収入】

項目	金額	説明（積算等）
事業収入		
寄附金収入		
補助金収入	54,060	
その他 （助成金等）		
会費充当	131,706	団体の本会計より充当
補助金返金		
合計	185,766	

2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明（積算等）
報償費			外部講師等の招へい あり <u>なし</u>
交通費	16,220	16,220	幼虫等調達のための交通費(町田(3,900円) 市内幼稚園, 小学校, 博物館交通費(12,320円))
消耗品費	42,874	39,980	オオムラサキ幼虫(70円×300=21,000円) 飼育舎用消耗品(不織布シート、防鳥ネット、鉢皿、 ビニールタイ等 11,332円) マグネットタック(880円) 封筒(1,562円) プリンターインク(8,100円)
印刷製本費	30,870	30,100	オオムラサキ通信(6,390円+8,034円) 学習用資料(1,595円)) 支援会員パンフ(73,70円+7,481円)
通信運搬費	10,080	1,470	切手代(10,080円)
保険料			
使用料及び賃借料			
原材料費			
その他経費	85,722	20,350	市川市補助金精算金(12,212円) 総会費用(2,260円) 事務所管理費(30,000円) 観察会経費(14,520円) 絵本(1,320円) 新聞折込&ポスティング(12,210円+13,200円)
合計	185,766	108,120	

※ 領収書（原本）を添付してください。